

商都大阪の文化力

江戸時代には、大阪は圧倒的な経済力を背景に上方文化を創造し、井原西鶴や近松門左衛門など今日に受け継がれる文芸の流れや、漢詩文を自在に操る町人の文人趣味など大阪独自の文化が花開きました。経済が停滞する現在、文化の枯渇が懸念されています。自立した町人によって創造された文化をいかに考えるかは現代の大阪にとっても重要なことと言えるでしょう。

このたび大阪商業大学商業史博物館では、「近世浪華の町人と文人趣味」と題する展覧会の開催を機に、自立する市民と文化意識を論じる連続講座を行い、今日的な課題でもある文化的貢献に関する公私の問題を考え、またシンポジウムの開催により、本来大阪が有する可能性について論じます。大阪の温故知新を実践する端緒となれば幸いに存じます。

連続講座「商都大阪の文化力」

時 間=午後2時～3時30分

会 場=大阪商業大学 GATEWAY 4階

ネットワークレクチャールーム

受講費=3,000円(全5回)(要申込、締切9月10日)

定 員=50名

①9月14日(金)「大阪画壇の可能性」 講師:明尾圭造
(大阪商業大学商業史博物館主席学芸員)

②9月21日(金)「近代ヨーロッパ都市社会における
感覚の共有と文化創造」

講師:塩田眞典(大阪商業大学大学院教授)

③9月28日(金)「大阪の文芸について」

講師:石上 敏(大阪商業大学大学院教授)

④10月5日(金)「懐徳堂と町人意識」

講師:山中浩之(大阪府立大学名誉教授)

⑤10月12日(金)「大阪と文人画」

講師:橋爪節也(大阪大学総合学術博物館館長)

シンポジウム「商都大阪の文化力」

日 時=10月20日(土)午後1時～4時

会 場=大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天

参加費=無料(要申込、締切10月15日)

定 員=300名

基調講演

「商都大阪の文化力」 伊木 稔

(大阪商業大学商業史博物館館長・大阪商業大学大学院教授)

報 告

「経済人とコレクション」 武藤治太

(國民會館会長・ダイワボウホールディングス相談役)

「文化装置としてのミュージアム」 萩 豊

(兵庫県立美術館館長・金沢21世紀美術館特任館長・

大阪市立美術館名誉館長)

「アジアの中の大阪とその文化」 中谷伸生

(関西大学教授)

パネルディスカッション コーディネーター 明尾圭造

〒577-8505 東大阪市御厨栄4-1-10◆大阪商業大学商業史博物館◆TEL06-6785-6139 FAX06-6785-6237

申込書 (受講希望項目にチェックをして下さい)		□連続講座 (*「河内人の万華鏡」受講者割引有、要連絡)		□シンポジウム
フリガナ		年 代	<input type="checkbox"/> ~20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代~	
申込者 お名前		ご連絡先	TEL	FAX
ご住所	E-mail			
<input type="checkbox"/> 情報提供不要				

この申込書に記入いただきました皆様の個人情報は、安全かつ適切な管理を行います。また、個人情報は本学が行う各種行事（公開講座・セミナー・大学祭など）の案内に利用する場合があります。これらの情報提供がご不要な場合は、右記□欄に☑印をご記入ください。